



北本市立南小学校だより

わかみどり

URL <http://minami.city.kitamoto.lg.jp>

令和6年11月号

〒364-0032

北本市緑3丁目387番地

TEL 048-591-4709

FAX 048-591-5802

学校教育目標 **みんな なかよく みどりの学校** 「かしこく げんきな 南っ子」

「生き抜いていく力」を身に着ける本当の「教育」とは・・・

校長 酒井 一昭

徳川家康にまつわる逸話を紹介します。

家康（竹千代）は幼少期に隣国の大名である今川義元の人質として暮らしました。義元は家臣に対し、「竹千代には『むごい教育』をせよ」と命じます。その家臣は、竹千代を日が昇る前から起こし、粗末な食べ物しか与えず、一日中剣術、武術、馬術、夜は学問をさせ、毎日くたくたになるまでしごきました。しつけも相当厳しくしました。

今川義元に竹千代の様子を問われた家臣が厳しくあたっていることの一部始終を得意げに報告すると、これを聞いた義元は「それは『むごい教育』ではない。お前たちは余の意図が分からんのか」と激怒したそうです。続けて、「これからは、寝たいといったら好きなだけ寝させてやれ。贅沢なご馳走をたらふく食わせてやれ。嫌がる事はさせるな、好きな事をさせる。夏は暑くないように、冬は寒くないようにしてやれ。欲しいといった物は何でも与えてやれ。」と命じ、最後に一言、「そうすれば大概の人間はだめになる。」と話したそうです。今川義元は、徳川家康が将来自分に敵対できないように腑抜けにするつもりだったのかもしれませんが。

その厳しい鍛錬のお陰ばかりではないと思いますが、歴史が語る事実として、徳川家康は戦国の混乱を治め、260余年にわたる天下太平の世、江戸時代の礎を築く大名へと成長していきました。

今の時代に置き換えてみると、お子さんたちを取り巻く現在の環境はどうでしょうか。楽しい情報はスマホですぐ手に入るし、欲しい物もネットで注文すれば翌日には届きます。世界中のおいしい料理もたくさんあります。好きなものを好きなだけ食べることもできます。夏は涼しく、冬は暖かい部屋が用意されています。放っておけば、義元の言う『むごい教育』がそのまま与えられる環境が整っています。ともすれば『大概の人間がだめになる』環境が目前にあるのです。

子どもたちにとって私たち大人としての役割は、大変重要です。易きに流れることなく、個に応じた適度なつらさや我慢、苦しみなどの負荷を経験させ、それを自分の力で乗り越えさせることで、お子さん一人一人が自ら成長できているという実感をもてるような教育環境を作ってあげなければならないでしょう。そして予測困難な世の中を、自分自身でたくましく「生き抜く力」「生き抜いていく力」を身につけてほしいと思っています。

「読書の秋」本番。心穏やかに本を読みませんか？

子どもの本を読む様子を見ていると、図書室で仕方なし？本を見ていたり、朝読書でなんとなく本を見ていたりする子もいます。

あえて「見る」と書きましたが、文章をちゃんと読まない子がいるようです。本より面白くて手取り早い楽しみがたくさんある今日です。ゲーム機器を操作するほうが簡単かもしれません。文字が小さい、意味が難しい、文章が長い、などを乗り越える努力が必要です。乗り越えるためには、「本には面白いことが書いてある」ということがわかるようになることが大切です。

低学年はお家の人の読み聞かせもよい機会となります。心を豊かにし、色々なことを教えてくれる楽しい本に出会ってほしいものです。一般に、読書好きな人は、語彙も豊富で複雑な物事も筋道立てて考える習慣がついており、一時的な感情に左右されず、激情的な言動をしてしまうことは少ないと言われております。また、想像力が豊かになる、知識が増える、文章を書く能力が付く、ストレスが減るなどの効果があるといわれております。読書の秋です。ぜひ、親子読書などチャレンジしてください。



11月は＜彩の国教育週間＞です



埼玉県では、教育に関する理解を深める機会として、毎年

11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。教育の日を含む、教育週間には、家庭、学校、地域社会の連携のもとに、教育に関する様々な取組を推進しています。

2日間程ずれてしまいますが、本校では「11月9日に学校公開日」を実施します。1・2時間目の授業を公開し、各教室にて普段の授業の様子をご覧いただければと思います。5年生については、1時間目に市内・地区音楽会に向けた合唱練習をする授業を体育館で行います。「芸術の秋」の一コマを思わせる時間になることと思います。お忙しい中恐縮ですが、授業公開にはぜひ学校まで足を運んでいただければと思います。